

富中だより



令和8年度合言葉

行きたくなる 居場所がある 成長できる学校

「〇〇の秋」

校長 太田 諭

10月も間もなく終わりを迎えます。令和8年度の教育活動も振り返し地点を過ぎ、後半に入りました。気づけば落ち葉が道を覆い、街路樹もすっかり色づいています。今年度はインフルエンザの流行が例年よりも早く、本校においても流行の兆しが見え始めています。体調管理には十分に気をつけたいものです。

学校では、10月2日(金)に「第45回富中祭」を開催しました。当日は来賓の方々、多くの保護者の皆様に来校いただき、無事に終えることができました。

富中祭では、生徒会書記局を中心に、「青春謳歌～青春と一瞬はセットなんだぜ～」をテーマとして、生徒が主体となって取り組んでいました。当日は観てくださる方全員に楽しんでいただけるよう、進行を工夫し、ステージ上では誰もが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。また、展示された作品の数々からも、それまでの熱心な取組過程が見えるようでした。活動期間における縦割り班による取組は、生徒個々の大きな成長に繋がったと確信しています。ご覧いただいた保護者の方からも、生徒の頑張りに対する賞賛の声が寄せられました。ありがとうございました。

さて、「〇〇の秋」といえば、何を思い浮かべるでしょうか。「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「旅行の秋」「勉強の秋」など、人の行動に関係するものだけでも数多くあります。

「勉強の秋」については、穏やかな気候や適度な気温によって集中しやすく、日没が早まることで夜の時間を有効に使えることに加え、食事や運動面からも勉強をサポートしやすい季節だからと言えるでしょう。

本校では、「富中祭」を区切りとして、生徒が次のステップを意識できるよう教育活動を移行しています。10月16日と本日23日には、「高校説明会」が行われています。昨年度までは6月に2・3年生を対象として実施していましたが、今年度からは時期と対象を見直し、より早い段階から生徒が進路を意識化できるよう、10月に1・2年生を対象として実施することとしました。今回はあわせて11校に来校いただき、各校の特色につい

て説明いただきました。「高校説明会」は、生徒が自らの興味・感心や適性を理解し、希望する進路を選択するための大切な機会として設定しています。この機会に、ご家庭で進路について話し合っていたら幸いです。3年生は、卒業まで半年を切り、次の段階に進むための努力を継続中です。進学がゴールではなく、「何のために進学するのか」「進学して何をするのか」を明確にイメージするためにも、ご家庭で十分に話し合っていたきたいと思っています。「勉強の秋」がより実り多いものになるよう期待しています。

私たち教職員も、この10月・11月は、「研修の秋」です。この時期には様々な「公開研究会」が開催され、教職員が授業を公開します。多くの教職員が参加し、「よりよい授業の在り方」について検討することによって、教師力の向上に努めています。「学び」は学生時代だけのものではありません。今後の大きく変化し続ける社会でたくましく生きるためには、生涯にわたって学び続けることが必要です。私たち教職員も、日々授業改善に取り組み、研鑽しています。その背中を本校生徒が見て、何かを感じてくれることを願っています。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校の教育活動に対するご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

第35回富原中学校 吹奏楽部定期演奏会

10月11日(日)に富原中学校吹奏楽部の定期演奏会が開かれました。途中休憩を挟んでの約2時間、あっという間に時間が過ぎてしまうくらい、聴き飽きないとても素敵な演奏会でした\(^o^)/

これまで部を牽引してきた3年生は、この演奏会にて引退と聞いています。大変お疲れさまでした！

